

令和6年度第1回倉敷市社会教育委員会議 会議録

(開催日時) 令和6年7月23日(火) 14時00分～15時00分

(開催場所) 倉敷市役所 10階大会議室

(報 告) (1) 教育行政重点施策・教育行政主要施策の取組

－令和5年度実績及び令和6年度計画－

(2) 社会教育団体への補助金

(出席者) 委員10人・欠席5人(別紙：社会教育委員名簿 参照)、事務局10人

(傍聴者) なし

(報 道) なし

(会議内容) 以下のとおり

1 開会

2 挨拶

- ・教育長による挨拶

3 委嘱状交付

- ・教育長から委員に委嘱状を交付

4 委員紹介

- ・委員及び事務局紹介
- ・議長の選任

5 報告

(1) 教育行政重点施策・教育行政主要の取組について

－令和5年度実績及び令和6年度計画－

- ・事務局からの説明

社会教育分野の主要事業・重点事業を掲載した資料をもとに、生涯学習部関係の重点施策・主要事業の主な事業について、令和5年度実績及び令和6年度計画を説明。

事前質問2件について、資料2「質問に対する回答」のとおり回答。

【議 長】 事前の意見や質問に対して説明があったが、その他何か意見や質問はあるか。

【委 員】 ちょっと説明不足と感じる。

例えば、他の委員の「どうして減っているのか。」との問いについて、延べと実数であるとのことだが、実数で比べたときにはどうなのかということを、わざわざ時間を取って説明するのであれば、一言説明を書き添えていただいた方が良いの

ではないかと思う。

延べ人数で合わせてもいい。説明として破綻はないが、説明を求めている私が聞いていて、やはり不親切という感じを受けた。

私が、明らかに数字が違うと質問した時に、「これはこうです」とあらかじめ書いてあるとか、あるいはE S C O事業の説明でも、燃料費が高くなったからとあるが、私は単純な間違いかと思った。

だが、よく見るとそうとも言い切れない。燃料費が高騰していることは分かっているが、それについて一言も説明がない。

省エネできたと言っているが、実際には燃料の金銭的なものが上がっていると、燃費の悪いものに乗り換えたのかと考えることもできる。

やはり説明が不親切だと思う。そんなに細かく書く必要はないが、こうやって明らかに数字上違うのであれば、それについて説明を加えておくべきだと思う。

それとコミュニティ・スクールに対する質問に関しても、聞いていることを捉えてないなという感じを受けた。参加したり情報収集したりする方法があるのかということを知っているのであって、事務局の回答のようにホームページとかは見ている。どこにも必要な情報がなく、細かくコミュニティ・スクールについて知ってもらいたいという熱意というようなものは感じなかった。

例えば、一昨年はこういう活動をしているとか、詳しくは国のサイトを見ると制度がわかるといったようなことも書かれていなかったような気がする。あまりコミュニティ・スクールに開かれていない感じがする。

私はデスクワークが多いが、デスクワークとしてはそれで良いかもしれないが、ホームページで発信するという目線で見えた場合、倉敷市のコミュニティ・スクールについて、市民の皆さんに知ってもらいたいという熱意があるかどうかと考えた時、やはり説明が足りないと私は感じた。

【議 長】 事務局から今の意見に対して回答はあるか。

【事 務 局】 先ほどのE S C O事業にしても、自然の家のP F Iにしても、数値が異なっているということについて、もともとの資料が不十分であったという指摘はその通りだと思う。次回以降、しっかりと考えて対応したい。

コミュニティ・スクールについては、学校運営協議会を設置した学校のことをコミュニティ・スクールと言っており、学校運営協議会が直接何か取り組み、地域と一緒にやって取り組みを行っているというようなものではなく、学校運営協議会を設置した学校がコミュニティ・スクールであると理解している。

コミュニティ・スクールの中で、何か地域の方が関わることができるのかどうかというような問い合わせをしたいという質問で間違いはないか。

また、コミュニティ・スクールの紹介ということになると、今ここに書いてあるホームページぐらいしか、今現在はできていない。

【委 員】 事務局からの質問に答えると、地域子育て支援拠点は0歳児のケアをするところ

なので、子どもたちがどのような状況か、小地域ケア会議というものに出席し、茶屋町地区はすごく、ひきこもりとか不登校が多いと聞いた。赤ちゃんの居場所はあるけど、小中学生の居場所がないというような話になっていたり、子どもたちが大人になって、赤ちゃんの時の知識があまりにもないので、そういったところで何か連携ができないかと考えていた時に、資料を見ていろいろ調べてみたが、そういうアクセスの感じではないし、どのような活動されているかといったところがわからない。

例えば、今の話だけで言えば、倉敷市では学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと呼んでいますと一文があれば、ただそれだけなのでわかる。学校運営協議会というものは、例えば設置したコミュニティ・スクールは「こことここです」というのが載っていて、学校運営協議会の委員はこういう方たちですというぐらいは、公開されてしかるべきかと思う。

学校は閉鎖的なので、何か議論してくださいと言われて議論をしに行ったことはあるが、なかなか連携をとりにくい。

やはり産前にアプローチするよりは、子供のうちから赤ちゃんとはこういうものだとか教育ができたりすると、命の尊さであるとか、いろんなところに広げていけるわけであって、そういう点で、何が必要かわからないが、その情報発信としては、いろんな見方をする人がいるっていうところで、できるだけ公開できる情報をきちんと公開していく。倉敷市はこういう活動しているというのであれば、それもあわせて一文でも良いので記載されているとなるほど思える。

その中に知っている人の顔があれば、その人に聞いてみようと思うが、今の状態では、資料に書いてあるぐらいのことしか掲載されていないので、非常に足りないという気はした。

【事務局】 コミュニティ・スクールに限らず、ホームページ等で情報発信が不足しているというのにも気づくことがある。今の意見を参考にし、充実に努めたい。

【議長】 このほかに何か意見等はあるか。

【委員】 41ページの子ども会支援事業⑪—2について、子ども会自体、地域の中では大分少なくなってきたかと思っている。

倉敷市子ども会連合会の参加団体はどれぐらいなのか、集団指導者リーダー養成講習会というものを年3回されているが、どれぐらいの参加人数なのか、内容的にはどのようなものか、参加者はどのようになるかを教えてもらいたい。

中に籠りがちな子ども達が、スポーツをしたり、苗植えをしたり、いろんな年代の方との交流があるのではないかと思いますので、そのあたりを聞かせてもらいたい。

【議長】 事務局から説明はあるか。

【事務局】 先ほどの子ども会の支援事業について、本日は詳しい資料を持参していないので、答えられるところのみ回答させていただきたい。

子ども会行事の中には、各単位内において地元で行っている事業がある。

その他に、市の子ども会連合会として、地域のリーダーを養成する、リーダー養成事業、子どもたちと一緒に自然の中で植物等を体験するという事で、昨年度は芋掘りをおこなっている。

少年自然の家や、ライフパーク倉敷を利用した交流会も行っている。

少し範囲は広がるが、毎年2月に「こどもまつり」という事業をおこなっており、青少年を育てる団体、スポーツ少年団やボーイスカウト等と一緒に、子どもたちが遊びの中で交流するといった事業を行っている。

その他に関しては、本日は回答できる資料を用意できていない。

【委員】 私は現職の市子ども会連合会の会長なので、補足説明をさせてもらう。

私が子ども会に携わって38年になるが、その頃から言えば会員数は10分の1になっている。これも保護者の方と、子どもの登録によつての10分の1なので、携わり始めた頃は保護者含めて50,000人いたが、今は倉敷市だけで約3,000人になっている。

本当に苦しい時期で、岡山県の方も、岡山市を除いて約1万人の加入率となっている。

これも私が県のほうへ関りを持つようになってからでも5分の1に減っている。岡山市の人数の方が非常に多くなっている。

岡山市と岡山県が一緒ぐらいで、少し岡山市の方が多いと思っている。

集団指導者等については、各単位子ども会の会長・副会長等に参加してもらい、私たちが持っているノウハウを「子ども会とは」という形で、各役員が編集しながら伝えている。

また、大人同士の仲間づくりの場という意味も含んでおり、年3回の講習会は非常に良い経験となっている。他の県ではこういったことはやっておらず、これは岡山県、特に倉敷市市子連独自の事業である。

こどもまつり等いろいろな行事はあるが、私が会長に就任してから、芋掘りを開始した。粘土質なので非常に掘りにくいが、コロナのときは250人、初めてやった10年前は350人が参加した。

今の役員は精一杯やってくれており、会長としては子ども会を存続しないといけないという気持ちがあるので、皆さんのお力もお借りしながら、今後も継続をしていきたいと思う。

（２）社会教育団体への補助金

・事務局からの説明

社会教育関係団体へ補助金を出すためには、社会教育委員の会議で意見聴取をすることが必要であると社会教育法で規定されているため、資料に基づき説明。

6 その他

なし

7 閉会

- ・教育次長による挨拶
- ・会議終了後、文化財保護課職員による楯築遺跡の説明を実施。